

令和7年度

一般選抜（I期）問題

試験日 1月31日

日本史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔1〕 次の文章は、2024年に起きた出来事を振り返った大学生優花と正史先生の会話である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

優花：令和6年は、1000円、5000円、1万円の紙幣が刷新されましたね。

正史：誰の肖像が描かれていますか？

優花：(1)北里柴三郎、(2)津田梅子、(3)渋沢栄一です。

正史：それ以前の肖像は、誰が描かれているか分かりますか？

優花：1000円札（券）は(4)野口英世、1万円札は(5)福澤諭吉ですよ。5000円札は、誰が描かれているのか忘れてしまいました。

正史：5000円札は(6)女流作家で、遊郭に近い下町の少女と寺の息子の淡い恋を描いた『①』、酌婦をめぐる物語の『②』が代表作です。平成16年以前の肖像画は、1万円は福澤諭吉でしたが、1000円札は『吾輩は猫である』『坊ちゃん』等を著した文豪（③）、5000円札は『武士道』を英文で発表した（④）でした。昭和59年以降の紙幣の肖像画は、近代日本を支えた偉人たちでした。

優花：昭和59年以前の紙幣には誰が描かれていたのですか？

正史：紙幣といえば、1万円札が(7)聖徳太子、1000円札が(8)伊藤博文、500円札が(9)岩倉具視、100円札が(10)板垣退助、50円札が(11)高橋是清でした。さらに、終戦直後発行の1円札には、幕末に勤労・儉約を中心とする報徳仕法で農村復興に努めた（⑤）が描かれていました。

優花：戦前の紙幣には誰が描かれていたのですか？

正史：(12)1881年に発行された紙幣に、古墳時代の神功皇后が、人物として初めて描かれました。そして、1888年には(13)遣唐使の廃止を建議した（⑥）、1890年には(14)道鏡の皇位就任を阻止した和氣清麻呂、1891年には中大兄皇子とともに大化の改新を推進した（⑦）、そして1930年には聖徳太子と、古代の日本で活躍した人物が続きます。戦時中には、(15)『古事記』『日本書紀』等で伝えられる伝説上の英雄である日本武尊が使用されました。

優花：日本の歴史に影響を与えた多くの人物が描かれており、それぞれの時代によって選ばれる人物に特徴があり、興味深いです。

問1 掲載いたしません。

問2 下線部(2)について、日本初の女子留学生の一人で、のちに女子英学塾を設立している。最初の留学の時は、誰を大使とした遣外使節であったか答えなさい。

問3 下線部(3)について、明治政府で税制・幣制改革にあたったが、退官後に条例によって東京で最初に設立した機関は何か、答えなさい。

問4 下線部(4)について、西アフリカのアクラ（現ガーナ共和国）に記念館が建っている。研究していた病気に感染して病死したが、その病名を答えなさい。

問5 下線部(5)について、1885年に「時事新報」に発表した脱亜論について、簡潔に要旨を説明しなさい。また、彼の著書でないものを、下記の語群から選び記号で答えなさい。

- a 西洋事情
- b 学問のすゝめ
- c 文明論之概略
- d 自由之理

問6 下線部(6)について、この女流作家の名前を答えなさい。また、空欄『 ① 』
『 ② 』に入る適切な作品を答えなさい。

問7 空欄（ ③ ）～（ ⑦ ）に入る適切な人名を答えなさい。

問8 下線部(7)について、彼が居住した斑鳩宮の所在地はどこか、現在の都道府県を答えなさい。

問9 下線部(8)～(11)について、下記の説明文から選び記号で答えなさい。また、説明文にはそれぞれ1か所の誤りがある。その誤りの箇所を正しく記述しなさい。

- a 大久保利通の死後の政府の最高指導者で、華族令・内閣制度を創設し初代首相となる。晩年は元老として勢力を保持し、日清戦争後に初代韓国統監を務めたが、暗殺された。
- b 幕末・明治の公家出身の政治家。公武合体を策し、のち倒幕論へ転向する。薩長討幕派と結んで王政復古に尽力した。欧米視察の帰国後は征韓論に賛成した。
- c 征韓論争に敗れて下野し、民撰議院設立建白書を提出し、自由民権運動の中心人物となる。立憲改進黨を結成して、その総理となる。その後、大隈重信と隈板内閣を組織する。
- d 日本銀行総裁・大蔵省を経て首相に就任する。蔵相時に、金融恐慌を收拾させ、金輸出再禁止を行った。五・一五事件で暗殺される。

問10 下線部(12)について、同年ではない歴史上の出来事を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。

- a 開拓使官有物払下げ事件 b 国会開設の勅諭
- c 明治十四年の政変 d 秩父事件

問11 下線部(13)について、藤原時平によって、どこに左遷させられたかを答えなさい。また、それが所在する現在の都道府県を答えなさい。

問 12 下線部(14)について、称徳天皇はどここの神託をもって道鏡に皇位をゆずろうとしたのか、その神社名を答えなさい。また、それが鎮座する現在の都道府県を答えなさい。

問 13 下線部(15)の①『古事記』・②『日本書紀』について、それぞれ神代（神話・伝承）から何天皇に至るまで記載されているか、答えなさい。

〔2〕 次の史料を読み、下記の問いに答えなさい（史料は省略したり、書き改めたりしたところがある）。

⁽¹⁾大目付え

此度御蔵米取御（ ① ）・御家人勝手向御救済之ため、⁽²⁾蔵宿借金仕法御改正仰出され候事

一、御（①）・御家人蔵宿共より借入金利足之儀は、向後金壹両に付（ ② ）六分宛之積り、利下げ申渡候間、借り方之儀は、是迄之通蔵宿と相對致すべき事。…（中略）…

一、旧来之借金は勿論、六ヶ年以前辰年までに借請候金子は、古借、新借之差別無く、（ ③ ）之積り相心得可き事。…（中略）…

⁽³⁾九月

右之趣、⁽⁴⁾万石以下の面々え相触れらる可く候。

問1 空欄（ ① ）～（ ③ ）に入る適切な語句を、答えなさい。

問2 下線(1)について、この役職はどのような業務を行うのか、簡潔に説明しなさい。

問3 下線部(2)について、米（蔵米）の売却を行う商人であるが、何と呼ばれていたか、答えなさい。

問4 下線部(3)について、この年号を下記から選び、記号で答えなさい。

- a 享保元年 b 天明元年 c 寛政元年 d 天保元年

問5 下線部(4)について、1万石以上の武士を何と呼ぶか、答えなさい。

問6 この資料について、一般に呼ばれる法令名、および誰が定めたものが答えなさい。また、この法令の内容を簡潔に説明しなさい。

〔3〕 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

(①) は天皇が幼少の期間にその政務を代行し、(②) は天皇の成人後に、その後見役として政治を補佐する地位である。10世紀後半から11世紀頃は、(①)・(②)が続き、その政治を(③)と呼び、(①)・(②)を出す家柄を(④)という。

(①)・(②)は藤原氏の中で最高の地位にあるものとして、藤原氏の「氏長者」を兼ね、人事の全体を掌握し、絶大な権力を握った。

969年に、醍醐天皇の子で左大臣の源高明が左遷される(⑤)が起ると、藤原氏北家の勢力は不動のものとなった。藤原兼通・兼家の兄弟争い、(⑥)・伊周の叔父・甥の争いなど(④)内部で、(①)・(②)の地位をめぐる争いが続いたが、10世紀末の(⑥)の時におさまった。そのあとを継いだ(⑦)は、3天皇の50年にわたって(①)・(②)をつとめ、(④)の勢力は安定していた。

問1 空欄(①)～(⑦)に入る適切な語句を、答えなさい。

問2 空欄(⑥)について、阿弥陀堂を中心とした大寺を建立した。その寺院を答えなさい。

問3 下線部について、藤原氏の大学別曹を、下記の語群から選び、記号で答えなさい。また、藤原氏の氏社を答えなさい。

- a 弘文院 b 勸学院 c 奨学院 d 学館院

以下余白